

◆臼杵IC 本線合流部(佐伯方面)が変わりました

令和5年3月27日(月)～4月18日(火)で実施した大分宮河内IC～津久見IC間夜間通行止め(令和5年3月27日～4月11日は大分宮河内IC～佐伯IC間)において、新しい車線が出来るまで臼杵IC本線合流部(佐伯方面)の現通行ルートを一時的に変更しました。

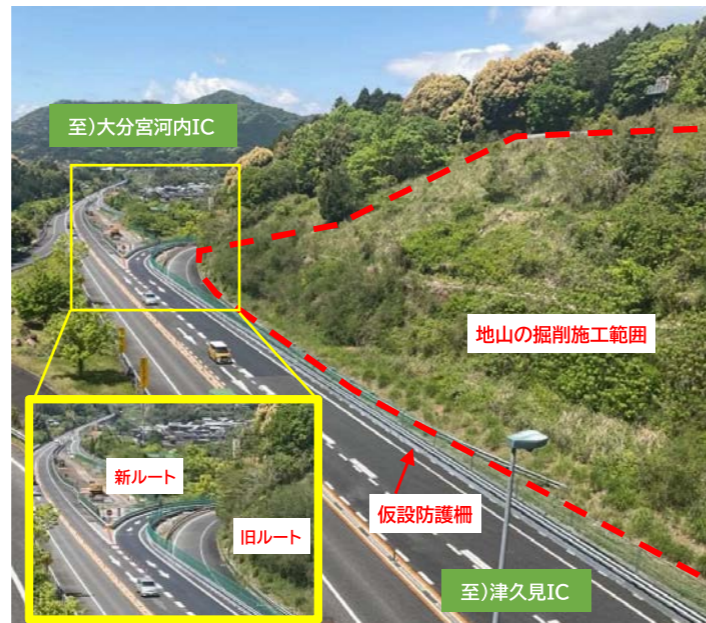
本線合流部の通行車線切替に合わせ、地山の掘削施工時における高速道路走行車両への安全対策として仮設防護柵の設置を行いました。これから臼杵IC周辺の地山の掘削施工が本格的に始まります。

地山の掘削施工に伴い、一般道及び高速道路での工事用車両通行が多くなりご不便をおかけしますが、安全第一で施工を行って参りますので、ご理解・ご協力のほどよろしくお願い致します。

切替前



切替後



◆どこまで進んでいるかな?トンネル工事掘削状況



貫通石のパワー

トンネルが貫通した地点で採取された石は「貫通石」(かんつうせき)と呼ばれます。古くから安産のお守りとして重宝する習わしがある他、意思(石)を貫くとして合格祈願や大願成就のお守りとしても使われています。



◆小学生を対象に香下トンネルの現場見学会を開催しました

令和5年3月22日(水)に宇佐市院内北部小学校の5年生11名を招いて宇佐IC～院内IC間4車線化事業における香下トンネルの現場見学会を行いました。4車線化事業及びトンネル掘削方法等の説明や日頃見ることのできない施工機械の見学・試乗を通じトンネル工事現場の臨場感を体験していただきました。

小学生のみなさんは、建設現場や大きな施工機械に興味津々な様子で「トンネル工事の大変さがとてもわかった!」「ダイナマイトの振動がすごかった!」「建設現場の人がかっこよかった!」「とても楽しかった!」などの声を多数いただきました。

概要説明



坑内見学・試乗体験



お礼のお手紙



トンネル施工方法



ドリルジャンボで含水爆薬を入れる穴を開け、含水爆薬をセットします。



含水爆薬を使って爆発させます。(騒音と低周波を低減させるために防音屏を設置します。)



掘っていく時に出る土や岩をホイールローダでダンプトラックに積んで外へ出します。



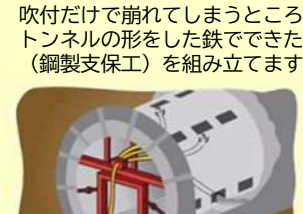
掘った穴がくずれないように、コンクリートを吹付けてトンネルの形に固めます。



ドリルジャンボで3mと4mの鉄の棒(ロックボルト)を山に打込み山を強くします。



山の中にある水がトンネルの中に入らないように、シート台車を使ってシートを張ります。



きれいなコンクリートを打つために円形の型枠(スライドセントル)を使います。

作業の実施にあたっては、高速道路周辺にお住いの皆さまや周辺道路を通行される方々への安全対策に十分留意して行います。皆さまにはご迷惑をお掛けして大変申し訳ありませんが、ご理解とご協力をよろしくお願い致します。

